



偉人の言葉

一方はこれで十分だと考えるが、もう一方はまだ足りないかもしれないと考える。そうしたいわば紙一枚の差が、大きな成果の違いを生む。

松下 幸之助

今回は探究活動で大切だなと思う考え方を紹介します。

リーン・スタートアップ という考え方

リーン・スタートアップの生まれ

リーン・スタートアップという考え方を知っていますか？この言葉は、米シリコンバレー発の起業方法として使われている言葉です。無数に生まれる企業の中で、大企業までに成長するのはほんの一握り。大半は事業のアイデアや製品がものにならず消滅していく。成功するのは1000社に3社、つまり起業しても0.3%しか生き残れない。この低い成功率をいかに引き上げるか、そこで考え出された手法が「リーン・スタートアップ」です。

リーン・スタートアップとは

リーン・スタートアップは、無駄がない (Lean) 起業 (Startup) という意味です。ケータイのiphoneやAndroidを使っている人や、自宅でパソコンを使っている人は定期的に内容の更新がかかる経験をしたことがあると思います。どんどん更新して内容に磨きがかかっていますよね。

「こうした方が良い(Idea)」と思ったものは、すぐに計画を練って作り始め、試作品(Prototype)を世に送り出します。そして、ユーザーからの使用状況や声(Data)を拾って改善策を学び、また新たなアイデアにつなげる。これがリーン・スタートアップの考え方です。

熟考するのは勿論良いことですが、机上で空論を述べても先に進まないことがあります。そういうときは、まずは試作を世に出して、それから多くを学んで、次に活かす。それぐらいフットワーク軽く研究に臨んでも良いと思います。

学習

構築

フィードバックにかかる時間を
最速にする

Data

Proto
type

計測

SSH研究開発部からのお知らせ

SSクラブの部員募集！

興味のある生徒は、理科または数学(山内)の先生に声をかけて下さい♪

SSクラブは「物理」「化学」「地学」「生物」「数学」の5領域で構成されています。それぞれの分野で実験・観察・証明など様々な手法で研究を行い、新しい発見を求めて日々活動しています。新たな研究者求ム！